



2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年11月12日
南海電気鉄道株式会社

本日の内容

1. 2014年3月期 第2四半期決算の概要 P 2
2. セグメント別の状況(2014年3月期第2四半期) P 6
3. 2014年3月期の業績予想 P16
4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況 P21





1. 2014年3月期 第2四半期 決算の概要

1. 2014年3月期 第2四半期決算の概要

1) 業績ハイライト

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
営業収益	89,087	97,682	8,594	9.6	●営業収益 関西国際空港利用客の増加に伴い、運輸業において増収となったほか、全セグメントにおいて増収
営業利益	12,532	12,992	459	3.7	●営業利益 増収に伴う増益に加え、費用削減努力もあり増益
経常利益	9,226	9,760	533	5.8	●経常利益 営業増益に加え、支払利息の減少が寄与し増益
四半期純利益	5,296	6,102	806	15.2	●四半期純利益 経常増益に加え、特別損益の改善もあり増益

1. 2014年3月期 第2四半期決算の概要

2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2013年3月末	2013年9月末	増減額	増減理由
流動資産	87,171	79,794	△7,377	●流動資産 譲渡性預金の減少
固定資産	694,418	697,189	2,771	
資産合計	781,589	776,983	△4,606	●固定資産 減価償却の進捗があったものの、連続立体交差化工事の進捗による建設仮勘定の増加や、保有上場株式の株価上昇による投資有価証券の増加による増加
負債合計	638,413	629,117	△9,295	●負債 借入金及び社債、支払手形及び買掛金の減少
純資産	143,176	147,865	4,689	●純資産 剰余金の配当による減少があったものの、四半期純利益の計上や、その他有価証券評価差額金の増加による増加
負債純資産合計	781,589	776,983	△4,606	
有利子負債残高	469,699	461,175	△8,524	社債の償還による減少

1. 2014年3月期 第2四半期決算の概要

3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	18,903	8,250	△10,652	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権や法人税等の支払額の増加等による収入の減少 ●投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の取得による支出の減少があったものの、敷金及び保証金の回収が減少したこと等による支出の増加 ●財務活動によるキャッシュ・フロー 借入金の返済による支出の減少等による支出の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,667	△5,367	△699	
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,539	△11,249	3,289	



2. セグメント別の状況 (2014年3月期 第2四半期)

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

セグメントの構成状況 (2013年9月末現在)

【連結子会社54社・非連結子会社11社・関連会社8社(うち持分法適用会社3社)】

増減(対 2013年3月末現在)

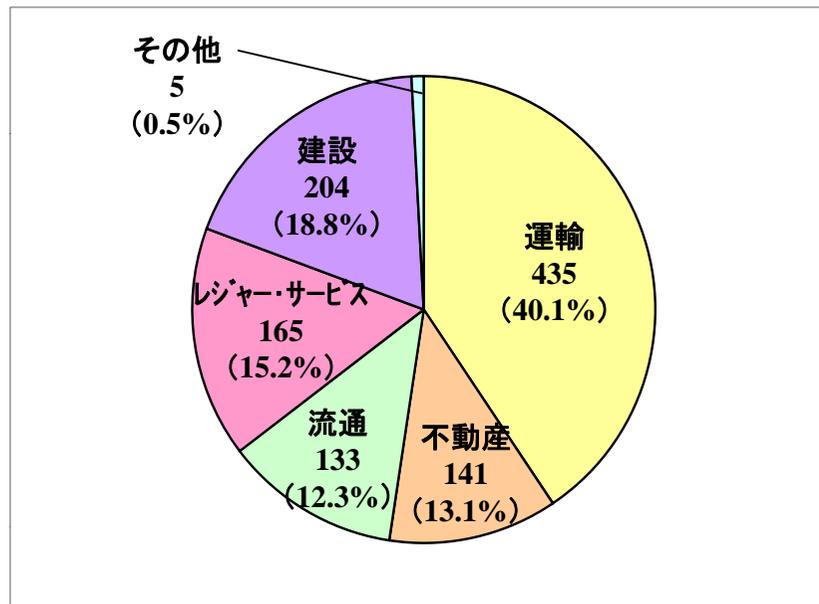
連結子会社の増加 1社:株式会社日本エコプランニングサービス

関連会社の増加 1社:PT. NISSENKEN INDONESIA

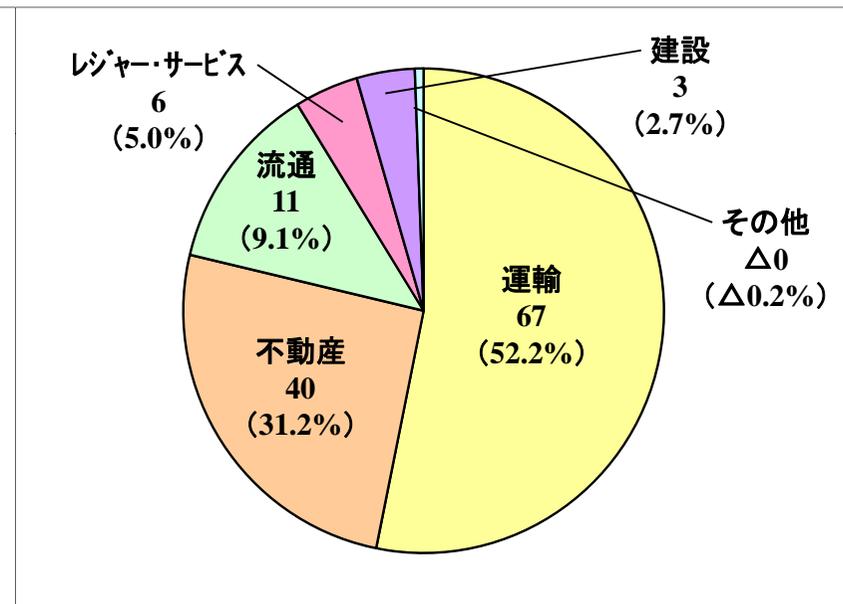
運輸業 (32社)	不動産業 (4社)	流通業 (8社)	レジャー・サービス業 (24社)	建設業 (5社)	その他の事業 (4社)
--------------	--------------	-------------	---------------------	-------------	----------------

※当社は複数セグメントに重複して含まれております。

営業収益 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

1) セグメント別営業収益

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率
運 輸 業	43,068	43,523	454	1.1
不 動 産 業	10,976	14,181	3,204	29.2
流 通 業	12,909	13,330	420	3.3
レジャー・サービス業	16,373	16,509	136	0.8
建 設 業	18,563	20,402	1,839	9.9
そ の 他 の 事 業	507	517	9	1.9
調 整 額	△13,311	△10,782		
合 計	89,087	97,682	8,594	9.6

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

2) セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率
運 輸 業	6,816	6,736	△80	△1.2
不 動 産 業	3,279	4,022	743	22.7
流 通 業	1,529	1,175	△353	△23.1
レジャー・サービス業	465	652	186	40.1
建 設 業	540	345	△194	△36.1
そ の 他 の 事 業	△16	△23	△6	—
調 整 額	△81	82		
合 計	12,532	12,992	459	3.7

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

3) 運輸業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
鉄道事業	27,870	28,047	177	0.6	●鉄道事業 関西国際空港利用客の増加による増収
軌道事業	706	718	12	1.8	
バス事業	12,482	12,645	163	1.3	
海運業	997	988	△8	△0.9	●バス事業 契約輸送収入の増加等による増収
貨物運送業	1,794	1,892	98	5.5	
車両整備業	2,199	2,412	213	9.7	●車両整備業 整備収入の増加による増収
調整額(セグメント内)	△2,980	△3,181			
営業収益	43,068	43,523	454	1.1	
営業利益	6,816	6,736	△80	△1.2	

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全 線			2012年9月期	2013年9月期	増減率
旅客収入	定 期 外		15,110	15,367	1.7
	定 期		11,428	11,376	△0.5
	合 計		26,538	26,743	0.8
輸送人員	定 期 外		43,569	43,949	0.9
	定 期		70,992	71,070	0.1
	合 計		114,561	115,019	0.4

(単位:百万円・千人・%)

空港線			2012年9月期	2013年9月期	増減率
旅客収入	定 期 外		1,958	2,153	10.0
	定 期		562	572	1.8
	合 計		2,520	2,725	8.1
輸送人員	定 期 外		2,364	2,683	13.5
	定 期		1,771	1,821	2.8
	合 計		4,135	4,504	8.9

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

4) 不動産業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
不動産賃貸業	9,093	9,104	11	0.1	●不動産販売業 分譲マンションの販売増加による増収 ●主な利益内訳 不動産賃貸業 3,909(+164) 不動産販売業 119(+599)
不動産販売業	1,949	5,503	3,553	182.3	
調整額(セグメント内)	△66	△427			
営業収益	10,976	14,181	3,204	29.2	
営業利益	3,279	4,022	743	22.7	

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

5) 流通業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
ショッピングセンターの経営	4,832	4,677	△155	△3.2	<p>●ショッピングセンターの経営 昨年3月のなんばパークスのリニューアル効果が一巡したこと等による賃料収入の減少による減収</p> <p>●駅ビジネス事業 駅ナカ商業施設「ekimo天王寺」開業による増収</p>
駅ビジネス事業	7,226	7,772	546	7.6	
その他	1,552	1,596	44	2.9	
調整額(セグメント内)	△701	△716			
営業収益	12,909	13,330	420	3.3	
営業利益	1,529	1,175	△353	△23.1	

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
遊園事業	726	689	△37	△5.1	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル・旅館業 宿泊者数の増加による増収 ●ボートレース施設賃貸業 「ボートパーク住之江」開業による舟券売上の増加による増収 ●その他 昨年10月のレンタカー事業の譲渡による減収
旅行業	960	998	37	3.9	
ホテル・旅館業	542	648	105	19.5	
ボートレース施設賃貸業	2,315	2,416	100	4.4	
ビル管理メンテナンス業	9,171	9,255	83	0.9	
印刷業	400	380	△19	△5.0	
広告代理業	550	558	7	1.4	
その他	2,768	2,636	△131	△4.8	
調整額(セグメント内)	△1,063	△1,074			
営業収益	16,373	16,509	136	0.8	
営業利益	465	652	186	40.1	

2. セグメント別の状況(2014年3月期 第2四半期)

7) 建設業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
建設業	18,585	20,417	1,832	9.9	●建設業 完成工事高の増加による増収
調整額(セグメント内)	△21	△15			
営業収益	18,563	20,402	1,839	9.9	
営業利益	540	345	△194	△36.1	

8) その他の事業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減率	増減理由
その他	509	518	9	1.9	
調整額(セグメント内)	△1	△1			
営業収益	507	517	9	1.9	
営業利益	△16	△23	△6	—	



3. 2014年3月期の業績予想

3. 2014年3月期の業績予想

1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想との差異	
営業収益	184,412	195,700	196,000	300	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 流通業を除き各セグメントにおいて増収 ●営業利益 増収に伴う増益や経費節減による増益 ●投資額 成長戦略投資の見直しによる減少 ●有利子負債残高 投資額の抑制による減少
営業利益	21,973	21,400	22,000	600	
経常利益	15,474	14,800	15,700	900	
当期純利益	7,518	8,500	9,200	700	
投資額	21,690	36,900	25,500	△11,400	
減価償却費	20,428	21,000	20,600	△400	
EBITDA※	42,402	42,400	42,600	200	
有利子負債残高	469,699	472,100	457,400	△14,700	
有利子負債残高 ／EBITDA倍率	11.1倍	11.1倍	10.7倍		

※ EBITDA=営業利益+減価償却費

3. 2014年3月期の業績予想

2) セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想との差異	
運 輸 業	86,097	86,200	86,800	600	<ul style="list-style-type: none"> ●運輸業 鉄道事業における関西国際空港利用客の増加による増収 ●不動産業 不動産販売業におけるマンション分譲の増加による増収 ●流通業 成長戦略における事業計画の見直しにより減収 ●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス業における工事収入の増加による増収 ●建設業 株式会社京阪電気商会の株式取得による増収
不 動 産 業	25,023	25,700	26,700	1,000	
流 通 業	25,978	28,200	27,200	△1,000	
レジャー・サービス業	33,940	33,700	34,500	800	
建 設 業	39,280	41,600	43,000	1,400	
その他の事業	1,801	1,400	1,500	100	
調 整 額	△27,710	△21,100	△23,700		
合 計	184,412	195,700	196,000	300	

3. 2014年3月期の業績予想

3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想との差異	
運輸業	11,896	11,000	11,400	400	<ul style="list-style-type: none"> ●運輸業 鉄道事業における増収に伴う増益 ●不動産業 不動産販売業における増収に伴う増益 ●流通業 広告宣伝費等の経費削減による増益
不動産業	5,715	6,100	6,400	300	
流通業	2,795	2,100	2,300	200	
レジャー・サービス業	962	1,400	1,400	—	
建設業	875	700	700	—	
その他の事業	131	100	100	—	
調整額	△401	0	△300		
合計	21,973	21,400	22,000	600	

3. 2014年3月期の業績予想

4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 期初予想	対前年 増減率	2014年3月期 修正予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	30,114	3.7	30,134	0.1	30,659	1.8
	定期	22,398	△0.7	22,354	△0.2	22,441	0.2
	合計	52,513	1.8	52,489	△0.0	53,101	1.1
輸送人員	定期外	87,182	2.0	87,390	0.2	88,132	1.1
	定期	137,947	△0.1	137,912	△0.0	138,726	0.6
	合計	225,129	0.7	225,302	0.1	226,858	0.8

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 期初予想	対前年 増減率	2014年3月期 修正予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	4,000	24.4	4,102	2.5	4,420	10.5
	定期	1,116	2.8	1,128	1.1	1,139	2.0
	合計	5,116	19.0	5,230	2.2	5,559	8.6
輸送人員	定期外	4,877	27.4	5,249	7.6	5,549	13.8
	定期	3,525	3.3	3,565	1.1	3,611	2.4
	合計	8,402	16.0	8,814	4.9	9,160	9.0



4. 中期経営計画「凜進130計画」 の進捗状況

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

「凜進130計画」の基本方針と数値目標(2011年度～2014年度)

基本方針

- ① 観光・インバウンドビジネスの推進
- ② 不動産・流通事業の拡大
- ③ 新たな事業領域への進出
- ④ なんばのまちづくり推進
- ⑤ グループ経営基盤の強化

数値目標(最終年度2015年3月期)

- ① 連結営業収益 2,300億円以上
- ② 連結経常利益 130億円以上
- ③ 連結有利子負債残高／EBITDA倍率 10倍台

※ EBITDA=営業利益+減価償却費

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

① 観光・インバウンドビジネスの推進(1/3)

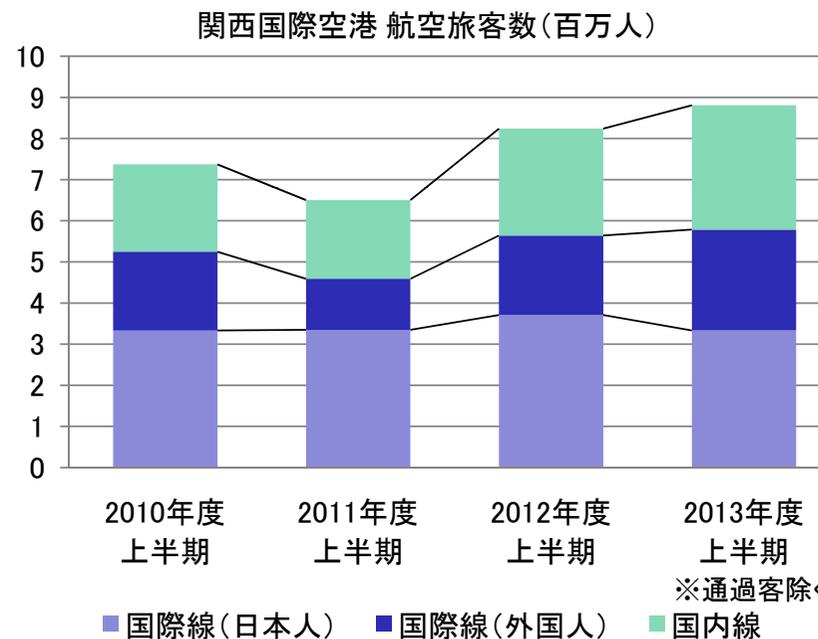
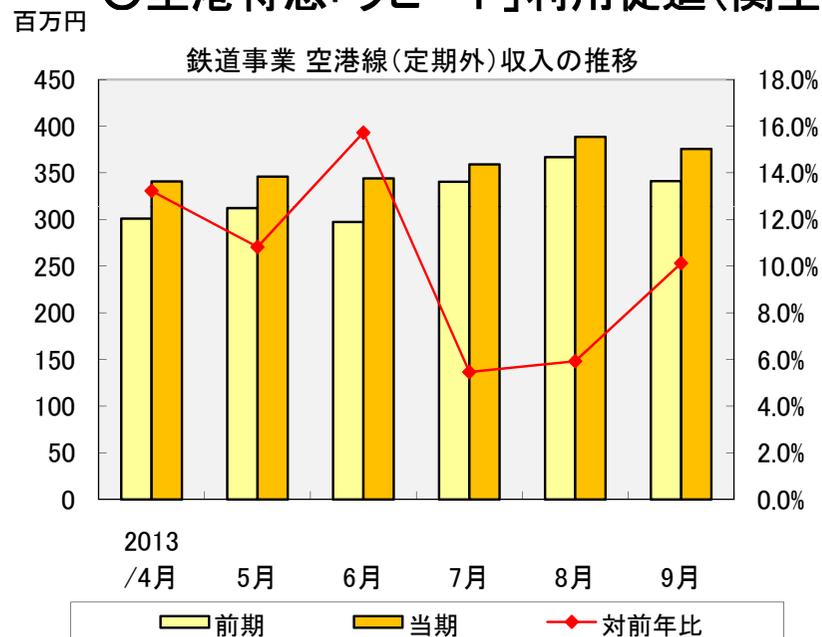
◇ 旅客需要の取込み

◆ 鉄道事業の収益力強化

- ジェットスターグループと提携(2013年4月)
- 鉄道アクセスきっぷの豊富なラインナップによる空港線の利用促進
- 空港特急「ラポート」利用促進(関空トク割ラポートきっぷ)



空港特急「ラポート」



新関西国際空港(株)の運営概況より当社作成 23

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

鉄道アクセスきっぷのラインナップ

関西主要都市へのアクセスきっぷ

商品名	提携先	発売価格
関空ちかトクきっぷ	大阪市交通局	980円
京都・関空アクセスきっぷ	大阪市交通局、阪急電鉄	1,200円
奈良アクセスきっぷ	近鉄電車	1,200円
神戸・関空アクセスきっぷ	阪神電車	1,100円

LCC旅客向け

商品名	提携先	発売価格
Peach・なんばきっぷ	ピーチ・アビエーション	※1,000円
Peach・京都観光きっぷ	ピーチ・アビエーション、 大阪市交通局、京阪電車	1,500円
ジェットスター・ナンカイきっぷ	ジェットスターグループ	※1,000円

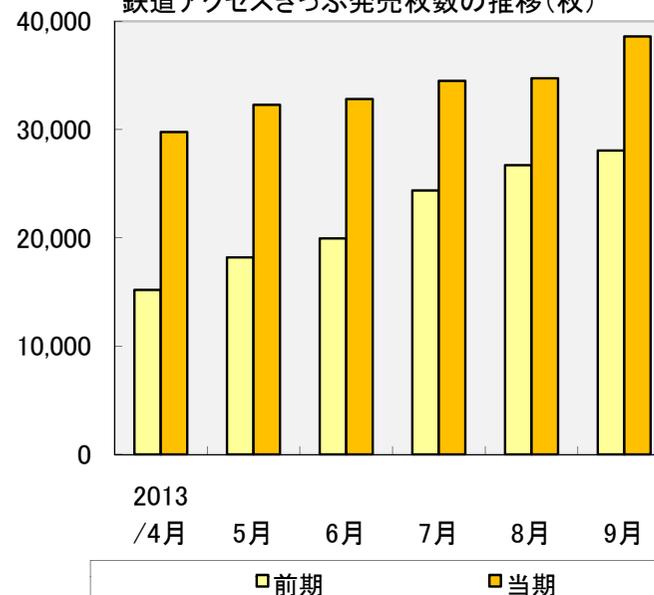
海外からの訪日インバウンド旅客向け

商品名	提携先	発売価格
ようこそ大阪きっぷ	大阪市交通局	※1,500円

発売価格は大人(片道)

※レール特急券付

鉄道アクセスきっぷ発売枚数の推移(枚)



南海ツーリストサポートセンター前(関西空港駅)

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

①観光・インバウンドビジネスの推進(2/3)

◇旅客需要の取込み

◆関空リムジンバス等の収益力強化

○早朝・深夜便の時間帯拡大

(2013年4月、10月)

梅田線、なんば線、京都線

○旅客需要に合わせた増便

(2013年10月)

奈良線、近鉄学園前・学研都市線

○新規路線の開設

(2013年11月)

名古屋線、東大阪線

○関空第1ターミナルからLCC専用

第2ターミナルへの連絡バスの増便

(2013年4月)



関西空港交通(株)リムジンバス路線図(2013年11月現在)

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

①観光・インバウンドビジネスの推進(3/3)

- ◆訪日インバウンド旅客の受入基盤拡充・販売強化
 - なんばCITY、なんばパークスの免税対応店舗における集客強化
 - 韓国、台湾、香港に加え、タイ、マレーシアにおいても海外エージェントへの直接営業実施



こうや花鉄道「天空」

- ◆和歌山県ゴールデンイヤー(※)に向けた旅客需要の取込み
 - 高野山開創1200年記念大法会(2015年)に向けた各種イベント実施
 - 高野線ダイヤ変更により、こうや花鉄道「天空」の増発(2013年10月)

※紀伊半島で2013年に「伊勢神宮式年遷宮」、14年に「紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録10周年」、15年に「高野山開創1200年」など大イベントが続く3年間を和歌山県ではゴールデンイヤーと位置付けている

- ◆沿線観光利用の促進
 - 徳島ー和歌山航路のフェリー2隻をリニューアル(2013年6月)
展望デッキや家族向けテーブル席などを新設しサービス向上を図る(南海フェリー)
 - 低床式車両「堺トラム」が我孫子道～浜寺駅前間の運行開始(2013年8月)
来春には大阪市内(天王寺駅前)まで乗り入れ区間を延伸予定(阪堺電気軌道)



低床式車両「堺トラム」
の車両と内装

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(1/3)

◇マンション分譲事業の拡大

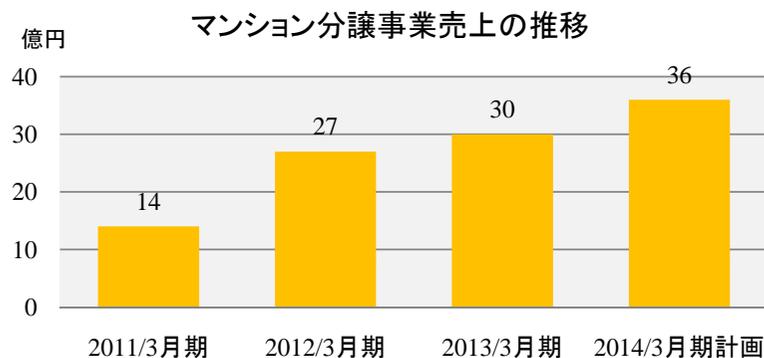
◆沿線エリア内外においてマンション分譲事業を展開

販売を開始している物件は順調に推移。今後も好立地案件を対象に事業推進

主な分譲マンション

※他社との共同事業物件

名称	所在地	戸数	竣工
ヴェリテ永和駅前	東大阪市	69戸	2013年8月
ヴェリテ帝塚山万代	大阪市住吉区	44戸	2013年10月
ヴェリテ山本駅前テラス	八尾市	86戸	2014年7月(予定)
ブルズ・ヴェリテ堺七道※	堺市堺区	202戸	2015年2月(予定)



ヴェリテ山本駅前テラス(イメージ) 27

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(2/3)

◇既存商業施設のブラッシュアップ

◆なんば商業施設の収益力向上

梅田(キタ)・天王寺(アベノ)の大規模開発が進むなか、地域が連携したエリアプロモーション、利用促進につながる各種施策、さらにはインバウンド旅客など新たな顧客層の開拓により、なんばエリア全体で集客力を高める

- なんば、心斎橋エリアでの合同商戦の打出し
- 積極的な店舗入替えの実施(なんばパークス、なんばCITY)
- 共通ポイントカード「PARKS・CITY CARD」の発行(2013年4月)
- イルミネーション「なんば光旅」の規模拡大(2013年11月～2014年2月)



なんば光旅「なんばパークス・光の滝」

◆沿線施設の収益力向上

- 堺駅前商業施設「プラットプラット」リニューアル(2013年9月)
- 三国ヶ丘駅商業施設リニューアル推進
施設の利便性や集客力の向上を目指し、駅構内バリアフリー化や商業施設リニューアルを推進。全面開業は2014年春を予定



プラットプラット
28

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(3/3)

◇収益基盤の拡充 ～小売・飲食事業等の強化・拡大、PM機能強化～

◆沿線外展開

御堂筋線なんば駅に「駅ナカ」商業施設「ekimoなんば」開業(2013年10月)
今年4月に御堂筋線天王寺駅に開業した「ekimo天王寺」に続き開業。

2014年春には「ekimo梅田」の開業を予定

【ekimoなんば 施設概要】

店舗面積: 1,047㎡

店舗数: 19店舗(コンビニ「アンズリー」、流行発信ショップ「ランキンランキン」他)

年間売上目標: 19億円

共同事業者: 東急不動産株式会社

乗降客数: 大阪市営地下鉄なんば駅 約33万人/日 (2012年度実績)



ekimoなんば

◆流通小売事業の拡大

なんばCITY館内や沿線エリア外施設を中心に新業態拡大。当社が店舗の経営主体を担い、店舗運営は専門事業者へ委託

店名	業種	開業	年間売上目標	店舗面積
ルートトギャラリー デアモール大阪店(1号店)	服飾雑貨	2013年5月	60百万円	約50㎡
スタイルディー ダイビル本館店(3号店)	文具雑貨	2013年7月	30百万円	約56㎡

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

③新たな事業領域への進出(1/2)

◇現行事業の周辺事業、新規事業や公共関連ビジネスへの展開

◆旅行事業会社のM&A

- (株)日本エコプランニングサービスの株式100%取得(2013年6月、南海国際旅行)
エコツアーなどテーマ性・趣味性の高い旅行分野の強化を図る

商号	株式会社日本エコプランニングサービス
事業内容	エコツアー(砂漠緑化活動ほか)、ボランティアツアー(孤児院訪問ほか)の企画・運営等
取扱高/資本金	321百万円(2012年9月期)/45百万円
設立	2001年10月

◆電気設備事業会社のM&A

- (株)京阪電気商会の株式100%取得(2013年10月、南海辰村建設)
同社の積算監理ノウハウや営業基盤(京都を拠点とする京阪神)を活用し、
原価削減と外部顧客網の拡大を図る

商号	株式会社京阪電気商会
事業内容	総合電気設備事業(電気工事、照明工事およびネオン工事の設計施工)
売上高/資本金	887百万円(2013年3月期)/20百万円
設立	1955年4月

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

③新たな事業領域への進出(2/2)

◇現行事業の周辺事業、新規事業や公共関連ビジネスへの展開

- ◆有料老人ホーム「南海ライフリレーションあびこ道」開業(2013年7月)
沿線でお住まいのシニア層の方々に、良質な住環境と介護サービスを提供するサービス付き高齢者向け住宅の第1号施設を開業

【施設概要】

施設種類: 有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅)

所在地: 大阪市住吉区(グループ会社敷地)

敷地面積: 1,800㎡

延床面積: 3,733㎡

居室数: 90室



建物外観



居室内



食堂

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

④ なんばのまちづくり推進(1/1)

◇ 南海会館ビル建替計画

○ 建替スケジュール

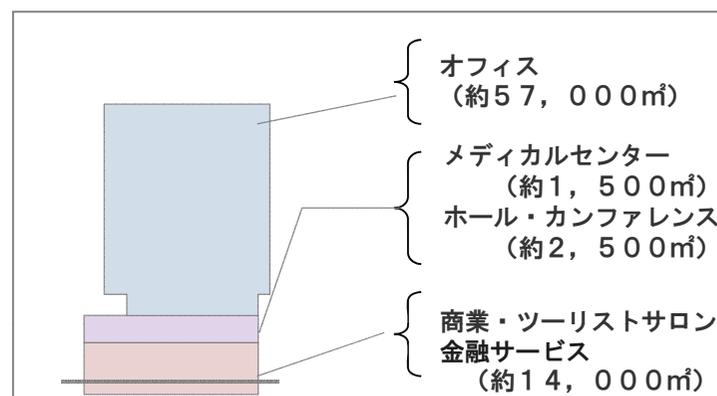


現在

○ 建築概要

階数	地上29階 地下2階
高さ	154m
建物用途	事務所、店舗、ホール・カンファレンス、医療施設(予定)
延床面積	約78,000㎡
総事業費	約400億円
竣工予定	2019年春

◆ 施設構成イメージ



※その他、設備関係3,000㎡ 32

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

◆主な取組み

2003年

2009年

2013年

2019年

なんばエリアの新たな価値創造

都市機能の充実による国際化対応と周辺地域、施設との相乗効果を図り、「なんば」の価値向上を目指す



パークスタワー



なんばパークス



南海ビル外壁美装化



フレイザーレジデンス南海大阪



南海なんば第1ビル



新南海会館イメージ
(建替推進中)

- 2003年 9月 パークスタワー開業
- 2003年10月 なんばパークス第1期開業
- 2007年 4月 なんばパークス全館グランドオープン
- 2009年 9月 南海ビル外壁美装化工事完成
- 2009年10月 なんばガレリア誕生
- 2010年10月 サービスアパート「フレイザーレジデンス南海大阪」開業
- 2011年 4月 なんばCITY再生リニューアルグランドオープン
- 2011年 7月 南海会館ビル建替え先行工事着手
- 2012年 4月 Zepp Namba(OSAKA)開業
- 2013年 2月 南海なんば第1ビル完成・本社移転
- 2013年 4月 大阪府立大学の新拠点 I-site(アイサイト)なんばオープン
- 2013年 9月 本社隣接高架下開発プロジェクト着手



なんばガレリア



Zepp Namba(OSAKA)

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

⑤グループ経営基盤の強化(1/2)

◇「安全・安心の追求」「サービスの向上」

◆連続立体交差事業の推進

輸送の安全性向上と踏切における事故の抜本対策として、南海本線(堺市内、高石市内、泉大津市内)の立体交差化を推進

◆駅バリアフリー化整備工事の推進

2012年度は、和歌山市駅でバリアフリー化工事を完了
2013年度は、羽倉崎駅、樽井駅で推進中



和歌山市駅に新設したエレベーター

◆鉄道事業における安全投資

必要な安全対策を計画的に実施。設備の充実や更新などに2012年度は65億円を投資、2013年度見込みは65億円

【2013年度計画の主な工事】

- ・新型ATS導入
- ・駅耐震補強工事(なんば駅他)
- ・車両の新造及び更新



4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

⑤グループ経営基盤の強化(2/2)

◇グループ会社の増収に向けた取組み

◆南紀地区における増収施策

- 「瀬峡めぐりの里 熊野川」 旅行会社や周辺施設へのセールス活動で受注拡大を図る
- 「ホテル中の島」 ネットエージェントの販売拡大やインバウンド旅客の誘致活動を強化
- 道の駅「くしもと橋杭岩」の運営受託(2013年4月)



瀬峡めぐりの里 熊野川

◆バス車庫用地の有効利用(南海バス)

- バス事業の効率化により金岡車庫を廃止(2013年9月)
- 安定収益源の確保を目指し、車庫用地の賃貸及び賃貸施設の建設を計画

事業概要

所在地	堺市北区新金岡町
面積	約6,400㎡
用途／敷地面積	土地賃貸／約5,000㎡、商業ビル／約1,000㎡

IRのお問い合わせ先

南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東2-1-41

(2013年2月12日に移転しました。)

経営政策室 経営企画部(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

MEMO